

視覚障害者が安心・安全に歩ける町にするために

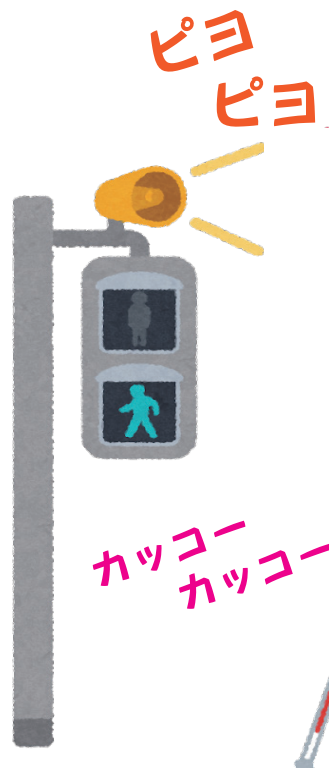
日本共産党は視覚障害者のみなさんと力あわせ安心して歩けるまちづくりをすすめ改善を求めています。視覚障害者の実状と願いを紹介します。

音響式信号機(視覚障害者用付加装置付信号)を増やして！

信号のある横断歩道で、歩行者がわたってもいい時に「ピヨピヨ・カッコー」と鳴る音は、視覚障害者にとっては欠かせない「耳で聞く青信号」です。

しかしせっかく音が鳴る信号機でも、夕方から翌朝まで鳴らないようにしてあるものもあり、音がしない時間帯に、信号が青だと勘違いして渡った視覚障害者が車にはねられ、死亡するという事故も起きています。

視覚障害者にとって「命綱」ともいえる「音」。青になったことが誰にでもわかるよう、もっと多くの信号機に音をつけることができないのでしょうか。ごいっしょに考えていきたいと思っています。



3点セットで設置を求めています

1. 音で「青」を知らせる信号機
2. エスコートゾーン
3. 歩道には点字ブロックを



「ピヨピヨ・カッコー」は「耳で聞く信号」

歩行者用の信号が「青」になると鳴りはじめる「ピヨピヨ」「カッコー」の音やメロディーは視覚障害者が信号・横断歩道をわたるときに

- 歩行者用信号が「青」になった
 - 音のする方向に歩けばまっすぐわたれる
- ということを知らせてくれる だいじな音です。

ご意見きかせて

- ピヨピヨ・カッコーの音は
 - 気になる
 - 気にならない
 - 静かなときは気になる
 - 鳴らしてもいい
 - 夜以外は鳴らしてもいい
 - 鳴らしてほしくない
- 車いすやベビーカーは点字ブロックや段差が苦手？
- ご意見お聞かせください

連絡先

2023年2・3月号外
発行所 / 東京民報社 港区芝 1-4-9 平和会館 5階
(1965年11月12日 第三種郵便物認可)

東京
民報

視覚障害のある人はどうやって横断歩道を渡っているのでしょうか

慣れているつもりで交差点で・・・

Aさんのケース

慣れているはずの交差点なのに、その日はしばらく進んでも向かい側の歩道がなかなか出てきません。すると並行している3車線の道路を走るたくさんの車の音がピタッと静かになりました。その異変に気がついた私は、一体何が起きたのかわからなくてその場に立ち尽くしてしまいました。

男性の方が車から降りてきて、どこへ行くのか、ここは道の真ん中だよと教えてくれたのです。その時初めて私は並行して走っている広い道路に斜めに出ていたのだとわかりました。男性に歩道に誘導していただいたと同時に、いっせいに車が動き出したのです。

信号機・交差点のデータ（東京都）

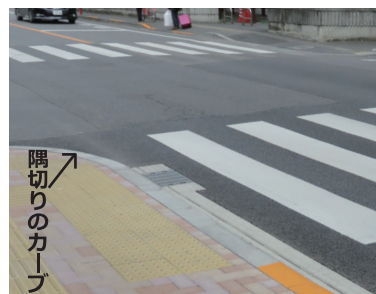
信号機の総数	16002 基 (2021年3月末)
音で知らせる信号機	2738 カ所 (2021年3月末)
車道がすべて赤の時、歩行者用信号のみが青になる信号（スクランブル交差点など）	177 カ所 (2021年3月末)
エスコートゾーン	746 地点 1384 本 (2022年3月末)
ラウンドアバウト交差点	2 カ所 (2022年3月末)

音響式信号機・エスコートゾーン・点字ブロックを増やして安心して歩ける町に

歩道の切れ目の「隅切り」で方向を見失い・・・

Bさんのケース

最近は道幅が広くなればなるほど交差点では大きく「隅切り」がしてあります。「点字ブロックの感じ」や「段差の具合」によっては、交差点に入ったことに気付かないこともあります。結局慣れた道でも、そろそろ交差点かな、と注意をしながら、押しボタンのあるあたりから渡り始めるようにしています。



音のならない歩車分離式信号の交差点で・・・

Cさんのケース

横断歩道を渡ろうとした際のことです。歩車分離式信号とは知らず、車の音がしないから大丈夫・・・と渡り始めたたん、「危ない！赤よ！」と叫ぶ声が聞こえました。急いで渡ろうとしてきた自転車と危うく接触しそうになったようでした。

日本共産党は視覚障害者のみなさんと力あわせ安心して歩けるまちづくり交差点・道路・駅などの改善を求めています。



◀信号が「青」に変わったことをスマートフォンで聞く方式の信号機の調査。

▶押しボタンをさがして押すと「青」になったときにピヨピヨ・カッコーが鳴る方式の信号機の調査。



◀宮本徹衆院議員と新宿の長距離バスターミナル「バスタ」のバリアフリー調査。



▲山添拓参院議員・都議・区議・市議とともに障害のある方の「歩行の安全」を求めて国土交通省の担当者に要請。